

今の政治姿勢で国県との

連携はとれるのか

★山田 誠

質問↓自衛隊基地反対闘争に参加していたが、市長になり全国自衛隊基地協議会や日本原自衛隊基地行事への参加状況はどうなっているのか。

答弁↓日本原自衛隊基地行事、全国基地協議会への参加は、他の公務との調整を図り、都合のつく限り出席している。なお、全国基地協議会への出席は一度もない。

質問↓成長戦略の一翼を担う農林業の予算割合が合併時より約2%下がっている。これは、農林業を軽視し、産業経済部統合による組織の弱体化と施策の遅れによる失敗の結果であった。美作市や真庭市、岡山鳥取両県は都市近郊に農産物販売店を開設、市内食品会社は鳥取の農家組合と契約栽培を結び、地産地消も崩れかけ外貨を稼ぐどころではなくなっているがどうか。

答弁↓農業の六次産業化の推進と地域の基幹産業である農林業と商工業間の連携を強化し、相乗効果を地域の活性化につながる目的で部を統合したものであり、効果を上げていくと認識している。



「市民アドバイザー制度」

なぜやめた？

★津山誠心会議 中島 完一



質問↓市長は市政アドバイザー制度についてどのような認識を持たれ、今後どのような展開を考えているのか。

答弁↓市政アドバイザーの方には、まちづくりにおける産業面、観光面などについて、有益なご意見、考え方をいただき、市政への強力な応援として、大きな力添えになっていただいていると感じている。今後は、シテイセールズ（情報発信）の視点も取り入れながら、制度を発展的に組みかえ、より幅広い層からの意見や提言を取り入れることのできる新たな枠組みによる制度の拡充を検討していきたい。

質問↓市政アドバイザー制度と同時に「市民アドバイザー制度」があったと思うが、制度をやめた理由は何ですか。

答弁↓私は市政運営にあたって、市民目線を掲げ、市民の皆様の意見に広く耳を傾けていきたいとの考えから、市民の中に特別に市民アドバイザーという制度を設け、その方を中心にご意見を聞くという手法は、私の政治手法と異なることから廃止した。

介護保険制度のあり方・

歩行者と自転車運転者の保護

★市民と歩む会 村田 隆男

質問↓要支援者向けサービスが国から市町村の事業へ段階的に移行されると聞くがどのように考えているのか。自称「転々ホーム」はひとり暮らしで気の合う同志、趣味を活かした共同生活で、介護難民の一部は問題解決すると思うが市の考えは。

答弁↓訪問介護、通所介護のすべての事業、介護予防とケアマネジメントの強化を軸に調整していく。制度改正の動向及びニーズ調査の結果を踏まえ研究を行い、必要に応じて国県への意見具申も検討したい。

質問↓道路交通法改正後の自転車走行区分は、どのように限定されるのか。違反した場合の罰則は市民対象に講習会は。路側帯と極端に狭い道路端と歩道の整備は。

答弁↓「自転車は左側部分を通行する」に改正。違反した場合は3か月以下の懲役または5万円以下の罰金が科せられる。交通事故未然防止のための啓発運動は、交通安全教室の中で周知徹底を図っていく。側溝のふた掛けや法面おこしなどによる拡幅を考へ、危険箇所の整備に努めていく。

